

3年生が部活動を引退してから、校庭やテニスコートに生える雑草の勢が増し、狸や猪が校地内に入っている形跡を目にすることが増えました。本校で生活していても、その土地に人が入らなくなったときに、自然をどのように管理し、自然とどのように付き合っていけばいいのかを考えさせられます。

日本はこれから世界でも例外的なハイペースで、人口減少と人口構成の高齢化を迎えます。それが私たちの生き方に影響を与えないはずはありません。数字を示せば、現在日本の人口は1億2600万人。政府統計によると、30年後の2050年頃には1億人を切り、あと80年後の2100年の人口は5000万人を下回ると言われています。同時に高齢化も進み、2018年の65歳以上の高齢者率は28.1%、2065年には38.4%に達します。

加えて、現在日本は、新型コロナウイルスの感染拡大という事態に直面しています。日本だけでなく、世界が、そして私たち一人一人が、答えのない問いにどう立ち向かうのかが問われています。ポストコロナの世界は大きく変化し、これまでの経験が通用しないが増えるかもしれません。

さらには、AIの導入によって、現在の職業の38%あまりがなくなると言われています。過去にも科学技術の進歩によって、ある職業が消えるということはありませんでしたが、AIによる影響は、規模と速度において歴史上に類を見ないものです。

そのような状況においても、皆さんにとって関心のある問題は、「これからどういう専門的な知識・技能を身に付けて、将来どういう仕事に就いたらいいのか」ではないでしょうか。

この問いに対して、私の答えはシンプルです。「好きなことをすればいい。したい勉強をして、したい技術を身に付けて、したい仕事に就けばいい」です。それで生活が成り立つかどうかは、後で考えればいいと思います。自分がしたいことを仕事にできれば、これほど幸せなことはありません。したくないけれども、これなら安定した人生が送れると言われて、仕事や職業を選んだ場合、やってみたら想定と違ったときに、悔やんでも悔やみきれません。

他方では、収入面から安定した生活ができるかどうかについても、知識として持ってほしいと思います。大切なのは、今は「安定した仕事」だと思われているものが、皆さんが大人になる5年後、10年後、20年後、30年後には、「安定した仕事」とは限らないということです。したがって、これから上の学校に進むときや専門分野を選ぶときには、仕事や雇用の歴史、状況、今後の見通しについて、自分自身でよく調べた上で、「あまり気が進まないけれど、親や先生にすすめられたし、今のところ安定した職業だから」ではなく、自分の直感に従い、自分の感覚や見方・考え方を大切に、勇気を持って決めてください。

人口減少と高齢化社会、そしてポストコロナの時代は、自分の頭で考えなければいけないこと、勉強しなければいけないことが山積しています。そんな時代を笑顔で豊かに生きていくために大切なことは、“自分で問題を見つけること”です。誰かが問題を用意してくれるのは、テストや入試のときだけです。自分の人生は自分のもの。自分で問いを立て、追求していくから、生きるのが楽しいのです。

さて、自分で問題を見つけるためには、同じ場所でじっと考えていても見つかりません。異なるヒト、異なるコト、異なるブンカに出会う経験が必要です。3年生は卒業まで、そして卒業してからも、そんな経験を大切にしてください。1・2年生は、生徒数が少ないことを強みに変えて、大野中をそんな経験が沢山できる学校にしてください。